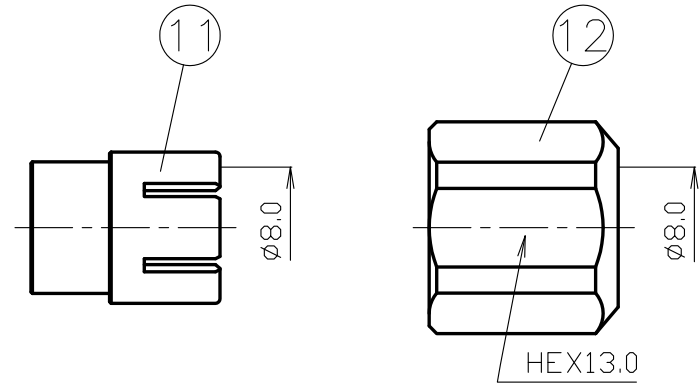
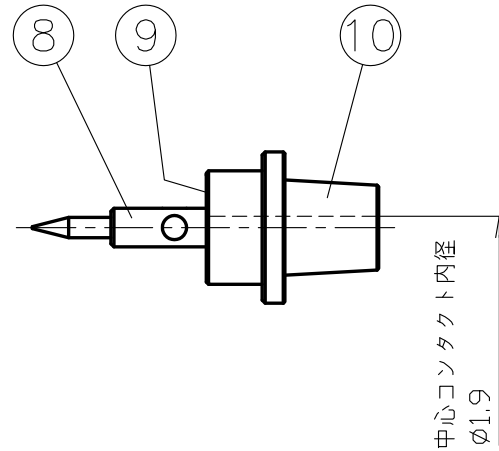
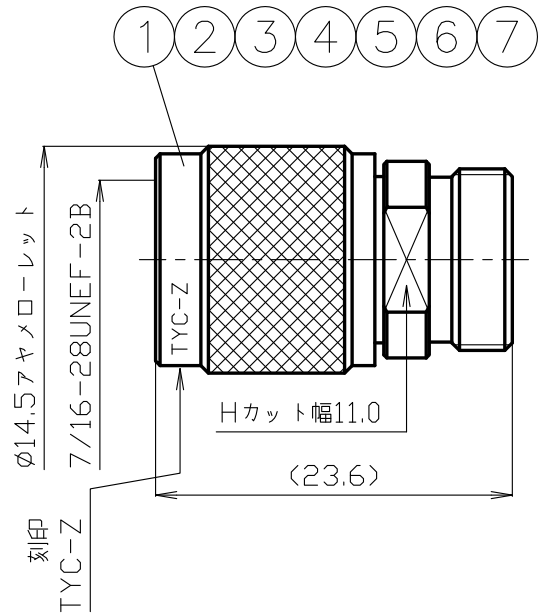


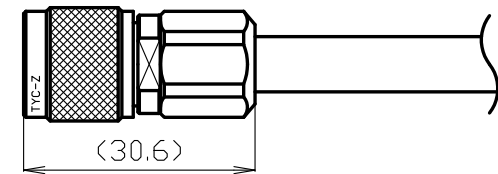


<http://www.to-conne.co.jp>
Reference Only

本書類の内容は、改良等のため予告なく変更・廃盤にすることがありますのでご了承下さい。



組立時 (1/1)



12	締付ナット	黄銅	1	Ni	
11	クランプ	黄銅	1	Ni	
10	フェルール	黄銅	1	Ni	
9	絶縁体	テフロン	1	--	
8	中心コンタクト	黄銅	1	Au	
7	本体	黄銅	1	Ni	
6	ワッシャー	鉄	1	Ni	
5	スペーサー	デルリン	1	--	
4	半円平ワッシャー	SK5	1	Ni	
3	ガスケット	シリコンゴム	1	--	
2	絶縁体A	テフロン	1	--	
1	接続ナット	黄銅	1	Ni	
番号	部 品 名	材 質	数 量	処 理	備 考

尺度 2/1

単位 mm

日付 2007.10.25

製 図	検 図	承 認	確 認



RoHS Compliant Cd $\leq 75\text{ppm}$
REMARKS BRASS: Cd $\leq 75\text{ppm}$
PHOSPHOR BRONZE: Pb $< 4\text{wt}\%$

品 名

TNCP-5FZ

図 番 J-0413014TT

TNCP-5FZ 取付仕様書

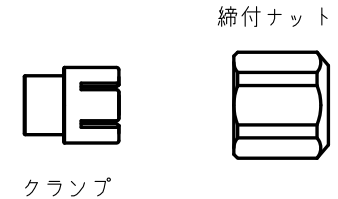
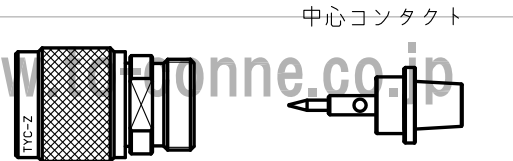
部品構成

図番 J-0413014TT



作成	確認

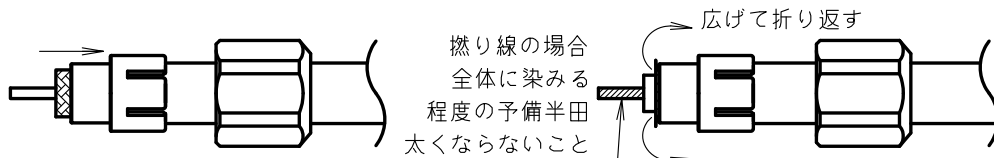
Reference Only



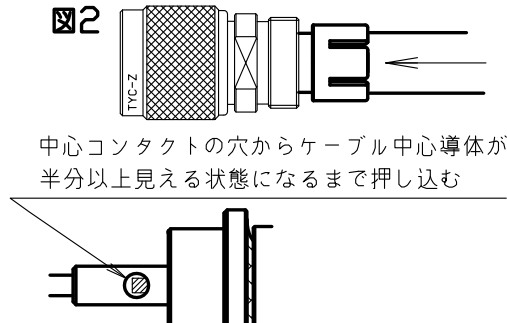
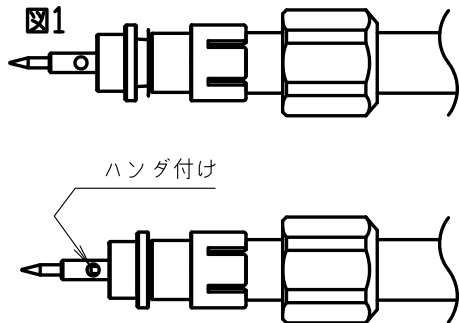
本書類の内容は、改良等のため予告なく変更・廃盤になる場合がありますのでご了承下さい。



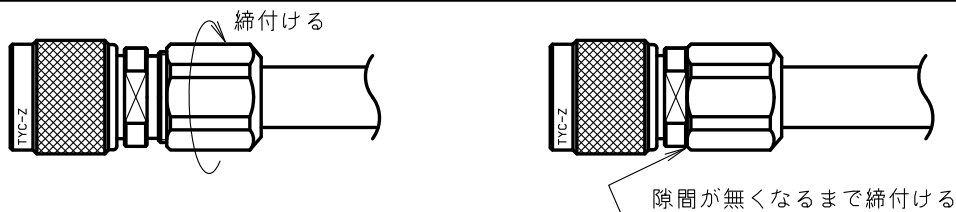
1 同軸ケーブルに締付ナットを通し、シース、外部導体、絶縁体を
図中の寸法で切りとる。



2 同軸ケーブルにクランプを通し、外部導体を広げて折り返す。
注意
中心導体が燃り線の場合、全体に染みる程度の子備半田をする。
中心導体の外径が膨らんで太くならないこと。



3 同軸ケーブルに中心コンタクトを装着し、ハンダ付けをする。
この時、図1 の位置までは手で挿入し、次に 図2 の様に同コネクタのシェルを用い、中心コンタクトの穴からケーブル中心導体が半分以上見える状態になるまで押し込む。
中心コンタクトの位置が定位置にある事を確認して、中心導体間にハンダ付けを行う。ハンダ付け後に中心コンタクトを引張り、抜けない事を確認する。



4 締付ナットをシェルとの隙間が無くなるまで スパナ等で締め付け、作業を完了する。

仕 様 書

品 名 TNCP-5FZ

No. 0411195

図 番 J-0413014TT

株式会社トーコネ

定 格 1 参考規格 JIS C 5412
 2 定格電圧 AC 500V
 3 定格周波数 4 GHz
 4 公称インピーダンス 50Ω

確 認	検 印	作 成

項 目	条 件	規 格
1	添付図に示す (図番 J-0413014TT)	異常のないこと
2		
3		
4	絶縁抵抗 DC 500V	1000MΩ以上
5	耐電圧 AC 1500V 1分間にて	異常のないこと
6	接触抵抗 接触間の電圧降下は、約1kHzの交流 又は直流で1mVを越えない方法にて	3mΩ以下
7	電圧定在波比 周波数 2000MHzまで	1.2以下
8	互換性 規格に準ずるコネクタと結合したとき	異常なく結合すること
9		
10	ケーブル引張強度 軸方向引張力 250N以上	異常のないこと
11	結合部接続強度 軸方向引張力250Nにて及び接続ナット に2.45N・mのトルクを加えたとき	接続ナットに 異常のないこと
12		

20151030

	変更履歴	日 付
1		
2		
3		